

教科等	授業改善の視点	児童の学習状況	改善の計画と評価の方法
国語	① 児童が主体的に学ぶ授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 興味・関心を高め、理解を深めるための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「すすんで学習している」では、85%以上の児童が肯定的な回答をしており、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。 ② ICT 機器を活用して、考えの視覚化や共有などを行う学習に関して、発達段階を考慮しつつ、できることを増やしている。	① アンケートでは肯定的な回答が多い一方、書きたい事柄を順序良く文章に書き表すことや、説明的な文章を整理して理解するなどの活動では、学習意欲や学ぶ楽しさの感じ方は個人差が大きくなると考えられる。 <u>考える手がかりを提示したり学習過程をスモールステップにしたりする</u> などの工夫をする。 ② <u>学習支援アプリを活用し、考えを整理したり意見や感想を共有したりすること</u> で、興味・関心を高め、多様な意見を知ることで理解を深められるようにする。学習者用端末を活用する機会を意図的に設ける。
算数	① 東京ベーシックドリルの確実な実施と活用 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 学習者用端末を活用した学習の充実 【ICT 機器の活用】	① 東京ベーシックドリルの診断テストで前学年の既習内容が7割以上定着している児童の割合は4月の時点で51.3%だったが、7月では59.1%となった。 ② 児童アンケート項目「すすんで学習している」では、80%以上の児童が肯定的な回答をしており、授業中も積極的な発言や意欲的な姿勢が多く見られる。一方で、否定的な回答をしている児童が10%おり、算数への苦手意識がある様子が見られる。	① <u>東京ベーシックドリルの活用を進め、7割以上定着している児童の割合を70%にまで高める</u> 。学期始の診断テストで7割に満たない児童は <u>補充学習を各学級で行う</u> 。学期末の診断テストを活用し、その結果を評価する。 ② <u>ICT 機器を活用し、既習事項の振り返りを丁寧にし</u> たり、導入場面を工夫したりする。また、 <u>他の児童と考えを共有すること</u> で、自分の思いを表現したり、課題解決につなげたりして、安心感をもって取り組めるようにする。
生活	① 児童が思いや願いをもち、体験と表現を行き来する授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 興味・関心を高め、課題解決するための学習者用端末を活用した学習の充実 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「すすんで学習している」では、91%の児童が肯定的な回答をしており、ほとんどの児童が主体的に授業に参加していると考えられる。 ② カメラ機能や検索サイト等を活用して主体的に学び、学習支援アプリを活用して協働的に学んでいる。	① 多くの児童が、授業に対して肯定的な回答をしていることを生かし、児童が主体的・対話的で深く学べるよう、生活科で重要な <u>体験と表現の往還をさらに充実させる</u> 。 <u>発言や行動、振り返り</u> を活用し、評価する。 ② 思いや願いの実現に向けて調べたり、対話したりするために、 <u>学習者用端末を活用し、学びを蓄積したり、課題解決</u> をしたりする。
音楽	① 学ぶ楽しさを実感できる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ③ 興味・関心を高め、理解を深めるための ICT 機器の活用 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「すすんで学習している」に対して、肯定的な回答をした児童の割合が92.3%であり、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。一方で、苦手意識があると取り組むことに躊躇する児童が数名いる。 ② ウェブ上のアプリなどを活用し、リズムや学校では扱うことができない楽器の音色を楽しんだり、音楽づくりをしたりしている。	① 楽しさを感じ、学びにつなげていくことができるような教材選択をする。教師が手本を示す、演奏前に <u>しっかり声を出して歌う</u> など、実践的、視覚的な支援をする。 ② <u>学習者用端末を活用し、自ら作り上げる音楽の楽しさ</u> を感じられるようにする。
図画 工作	① 学ぶ楽しさを実感できる授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】 ② 振り返り活動の充実 【ICT 機器の活用】	① 児童アンケート項目「すすんで学習している」では、90%以上の児童が肯定的な回答をしており、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加している。 ② 学習支援アプリを活用し、友達の作品を意欲的に鑑賞することができた。一方で、よさを伝えることができない児童も若干名いた。	①②教師の見本（複数の種類、教師のねらいを落とし込んだものなど）を充実させたり、 <u>友達の作品を共有する時間を充実</u> させたりする。年間の活動を通して、 <u>単元ごとの制作するよさや材料や道具を使う面白さ</u> に気付けるようにする。

<p>体育</p>	<p>① 基礎体力の向上、体育的活動の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② 動きの可視化、振り返り活動の充実 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 児童アンケート項目「すすんで学習している」では、90%の児童が肯定的な回答をしており、ほとんどの児童が主体的に授業へ参加していると考えられる。</p> <p>② 毎時間、学習の振り返りを行い、児童の「分かった」の質・量をさらに高めていく必要がある。</p>	<p>① <u>運動がより日常化するように、児童が取り入れやすい（真似しやすい）活動を授業に設定していく。</u></p> <p>② 児童の「分かった」を高めていくために、<u>活動に合った振り返り（ハンドサイン、発言、ワークシートへの記述など）</u>を行っていく。また、手本となる動きや自分の動きを <u>ICT 機器を活用して可視化し、振り返りに生かす。</u></p>
<p>道徳</p>	<p>① 児童が主体的に学ぶ授業の充実 【基礎的・基本的な学習の定着、主体的・対話的で深い学びのある授業】</p> <p>② ICT 機器を活用した学習の充実 【ICT 機器の活用】</p>	<p>① 意欲的に取り組める児童が多いが、自分自身の意見を発言することや振り返りをペア、小集団活動で共有することがまだできない児童が一定数いる。</p> <p>② すすんで学習に取り組むことができる児童が多いが、教材に正対し、自分事として考えを深めることが苦手な児童がいる。</p>	<p>① <u>ワークシートを活用し、考える視点を明確にし、自分の考えをもつことができるようにする。また、小集団で考えを交流したり、役割演技を行ったりすることで、自分の考えをもったり表現したりしやすくする。</u></p> <p>② <u>デジタル教科書のスライドショー動画を視聴した後に話し合い活動に入ることで、より考えやすくし、資料の内容、価値項目に迫りやすくする。</u></p>